●各議員のQRコードを読み取ると、その議員の一般質問の様子が視聴できます。

一般質問 Q&A



山条（さんじょう） 真嗣（まさつぐ） 議員
自民党市政会

質問の様子はこちら！

若者の地元定着促進について

Q 市独自の奨学金返還支援制度を創設・導入すべきと考えるが、市長の考えを伺う。

A 奨学金の返還を支援し、若者の経済的負担の軽減を図ることは、本市への若者の定着につながる極めて有効な施策であると認識しており、新年度からの実施に向け、本市独自の奨学金返還支援制度を創設していきます。

制度の構築に当たっては、県の制度や県内他市町の制度の効果や課題を十分に検証した上で、若者の定着により高い効果をもたらす条件を設定する予定です。また、市内事業者の人手不足といった、本市が抱えるまちづくりの課題解決にも相乗効果をもたらすような、本市にとって最適な制度として形にしていきたいと考えています。

坂出で生まれ育った子供たちが、転出しても「やっぱり坂出がいい」と笑顔で帰ってこられるような、温かく活力あるまちづくりに取り組んでいきます。

（市長）

アーバンスポーツの普及について

Q 公園施設、または未利用地等を活用したスリー・エックス・スリーコートを新たに設置すべきと考えるが、実現可能性や見解を伺う。

A 市民がわくわくする魅力的な町さかいでを目指すためにも、若者向けのスポーツ拠点の整備は、非常に効果的な取組であると考えます。

本市においてもスリー・エックス・スリーを楽しむことができるよう、既存の公園等で整備可能な場所を選定していきます。

（市長）

スリー・エックス・スリーは、コートの面積が通常のバスケットボールの半分以下である上、ゴールネットも1基のみと、省スペースで整備できることから、既存の公園施設や未利用地等の一角に設置することは可能であると考えます。

利用者については若年層が中心となることが想定されることから、交通の利便性が高く、人が集まりやすいエリアに設置することが望ましいものと考えます。

（教育部長）



小笠原（おがさわら） 浩（ひろし） 議員
国民民主坂出

質問の様子はこちら！

坂出港について

Q 日清製粉坂出工場の閉鎖・三菱ケミカル香川事業所のコークス事業の撤退など、今後の取扱貨物量に影響を与える企業活動について、どの程度取扱貨物量への影響を見込んでいるのか伺う。

A 麦の取扱貨物量については、日清製粉坂出工場が令和7年9月末で閉鎖されており、年間で約7万トン規模の減少が見込まれます。

また、石炭の取扱貨物量については、三菱ケミカル香川事業所のコークス事業の撤退により約355万トンの減少が見込まれます。

一方で、坂出ＬＮＧ株式会社においては、今後、天然ガス需要の増加が見込まれることから、ＬＮＧタンクの増設が計画されているように、事業環境の変化に伴い取扱貨物量の増加が期待される企業活動もあります。

（技監）

Q 坂出港を将来的にどのような港湾として発展させていくのか、市長の考えを伺う。

A これまで坂出港を支えてきた貨物の一部が減少することも見込まれており、将来にわたって坂出港の活力を維持・発展させていくためには、既存の産業を支えるだけでなく、新たな物流や産業を呼び込んでいくことが重要であると考えています。また、坂出港港湾脱炭素化推進計画においては、交通・物流の結節点であり、エネルギー供給拠点として重要な役割を担う坂出港の立地特性を生かしながら、港湾における脱炭素化を推進することとしています。

坂出港については、引き続き坂出ニューポートプランを推進するとともに、ＧＸ戦略地域制度の認定を受けることにより、番の州地区を起点として、坂出港全体の脱炭素化や、水素などの次世代エネルギーの利活用を進め、立地企業の競争力強化を図るとともに、新たな産業や企業の集積につながる産業クラスター形成の核となる港湾を目指していきます。

（市長）

質問の主な項目
- 空き家について